

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている			
	やや良くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・以前に比べ、人の出が良くなってきた。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・暖かくなってきたこともあり、来街者は大変多くなっている。客の動きそのものは上向きになっているようだが、客単価は相変わらず低い。売上としては、微増というところである。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・販売額が徐々に伸びてきている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・ここ数か月、販売点数が前年比103～104%と前年を上回っている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は上昇しつつある。同じ商品で、高価格のものと低価格のものを揃えると、高単価のものが良く売れている。
		スーパー（販売担当）	競争相手の様子	・客の買上点数が増加した。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・売上はアップして前年を軽くクリアできる見通しである。既存の店舗の売上回復によるものと思われる。来月にかけての受注状況も安定しており、既存店の定番商品がかなり動き出している。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・サッカーワールドカップ、地上デジタル放送を控え、テレビ・DVDプレーヤー等の動きが良い。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・来客数も順調に推移してきており、ETC車載器の動きも引き続き良い。また当方からの働きかけもあるが、加えてオイル交換等ピットサービスも増加傾向にある。
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・メニュー変更で、価格を上げたが客数減になるどころか客数増で、我が社は良い結果になっている。
		スナック（経営者）	それ以外	・暖かくなり、客の動きが少し出てきた。歓迎会等の流れで、少し来客数が増えた。
		その他飲食〔ハンバーガー〕（経営者）	単価の動き	・引き続き客数は二けたの伸びを示しており、客単価は下げ止まってきたため、売上に好影響を与えており、久しぶりに二けたの増収になりそうだ。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・3か月前に比べて、地元企業の利用等が増えており、回復の兆しがみえている。
		観光型ホテル（経理総務担当）	お客様の様子	・来館して予約する客が増加している。
		都市型ホテル（総務担当）	販売量の動き	・一般宴会において、新規受注が増加傾向にあり、全国大会的なものも入ってきている。また婚礼においても、若干ではあるものの客単価が増加傾向にある。総じて景気上向き傾向にある。
		タクシー運転手	販売量の動き	・この3か月間は、売上が前年比102%前後と地道に向上している。特に4月はそれ以上の伸びをみせ、景気が良くなっていることを実感している。
		タクシー運転手	販売量の動き	・過去4か月と比べて業界全体に若干の伸びがある。観光・個人需要どちらも動きが良い。観光については、昨年度に比べて回復の兆しをみせ、動きが活発化している。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・単価は低下する傾向だが、数量は増加している。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず競合店が多く、値引きも厳しいが、一時よりは良くなっているように感じられる。
	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・2～3か月前に比べて契約件数が少しずつ増加してきている。	
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・展示場への来場者数が、徐々にだが回復基調にあり、ようやく受注に反映されだした。また、物件の流通も動きがみられるようになった。	
	住宅販売会社（経理担当）	来客数の動き	・モデルルームへの来場者数が増加傾向にあり、契約戸数も1～2月の実績を上回ってきた。	
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・4月前半は順調であったが、後半は天気の崩れとともに客足が落ちた。

一般小売店〔印章〕（営業担当）	来客数の動き	・昨年同様、月初めは会社の異動等で多少動きがあったが、中旬以降はあまり活気がなく、来客数も少ない。
百貨店（営業担当）	お客様の様子	・気温が不安定で、客は今何を購入したら良いかわからない様子である。春物が2月3月に好調であった反動が大きく、4月になっても初夏物の動きが悪い。
百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・ファッション部門は一斉に初夏物へ品ぞろえを変更したが、4月に入り日々最高気温が前年より5～7度低く、肌寒い日々続いたため、婦人服がミセス中心に低迷が続いた。またカジュアルウェアについては価格に対してもシビアな購買姿勢が見受けられる。
百貨店（売場担当）	販売量の動き	・4月に入り3月までの勢いはなくなり、好調であったウエッジサンダルも一時休止のような状態になってきた。市内の各店の状況も前年比89%から95%の状況で前年を上回る店がない。
百貨店（売場担当）	お客様の様子	・担当売場の中でも、好調なアイテムと不振なアイテムが明確に分かれており、総じて言えば前年と変わらずといったところである。ただし、例年よりも若干気温が低いこともあり、初夏物の動きが鈍いようである。
百貨店（売場担当）	販売量の動き	・今月は気温の変化が大きく心配されたが、夏物を求める客が多かった。
百貨店（売場担当）	来客数の動き	・今月は天候が悪く来客数は減少した。特に週末の雨は影響が大きかった。
百貨店（購買担当）	お客様の様子	・3か月前に比べると良くなっている。ただし、先月がかなり好調で全館的に売上も良かったのに対し、今月は気温の変化が大きく客の衣料に関する購買意欲が低い。また今月は物産展を開催しているが、こちらは好調で行列ができるほどの賑わいをみせているが、それ以外のファッション関係等については、まだまだ財布のひもがかたいという状況である。
スーパー（店長）	競争相手の様子	・ショッピングセンター開店後1か月が経過し、チラシでの価格訴求がさらに強まっている。午前中と夕方のタイムサービス、日曜日だけのチラシ投入等、競争は激化している。
スーパー（店長）	単価の動き	・3か月前と比較して、来客数および一人当たりの買上点数ともに、変化はない。
スーパー（店長）	単価の動き	・売上においてはほぼ100%となっているが、依然として単価ダウンの下げ止まりという傾向で、前年比96.8%と非常に低い状況になっている。客単価も前年を割り込んでおり、競合店との相殺を考えても、まだまだ景気の回復にはいたっていない。
スーパー（総務担当）	単価の動き	・青果物の単価が低下したままである。販売点数の高い分類なので、売上高減にそのまま直結している。
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・今月は花見や行楽シーズンであったが、まとめ買いの客は少なく、単価も上がっていない。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・今月は天候のせいか花見客の来店も少なく、その後も気温が低いせい客足も伸びず、特に飲料・ビール・アイスクリーム等の動きが悪かった。
衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・4月は例年になく気温が低く、来客数・販売量・販売点数ともに、悪い状況であった。特に春夏物の全アイテムが低迷している状態である。
衣料品専門店（販売促進担当）	来客数の動き	・今月は来客数は落ち込んでいるが、季節の変わりめということもありボトムスが好調である。まだまだ本格的に暖かくないため、夏物商材の数が出ていないが、客単価が高いため売上は昨年並みである。
百貨店（営業担当）	来客数の動き	・4月是不順な天候が続く、地方選挙の影響もあってか来客数が昨年より減少した。ただし、売上高は昨年とほぼ同額であった。
家電量販店（予算担当）	販売量の動き	・先月は、計画比・前年比ともに好調であったが、今月は若干緩やかな動きで推移している。これは年末セールや年度末セールなどが非常に好調であり、その反動があったためと考えられ、景気や消費が後退したとは考えていない。
乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・3月は客の動きも活発であったが、4月に入り客の動きが鈍くなった。また、市場も前年割れという状況で、景気が良いとは肌で感じることはできない。

乗用車販売店 (統括)	お客様の様子	・商品に影響されるので一概には言えないが、来店客も単価もあまり変化がない。また、購入までの期間が長いようで、資料請求はあるがすぐに購入に至るケースが少ない。	
住関連専門店 (広告企画担当)	お客様の様子	・単価の高い客と低い客の差が激しくなっている。	
その他専門店 [スポーツ] (店長)	来客数の動き	・DMを送付しても来客数が増加することがなかった。	
高級レストラン (スタッフ)	単価の動き	・一般の宴会は単価的には動きはないが、婚礼については若干の単価アップが見受けられる。	
都市型ホテル (従業員)	来客数の動き	・休祝日の来客が増加するなど来客数にメリハリは出てきたが、総来客数は増えていない。	
都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・宿泊は前年に比べ客数は増えているが、客単価が低下しているため、売上は伸びていない。少しでも安い施設を探している客が増加している。	
旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・新年度に入り、客の動きは徐々に活発になってきているが、受注額については前年度とあまり変化がない。これから、どれだけ受注量が伸びるか不透明である。	
タクシー運転手	販売量の動き	・2~3か月前と比べて、利用件数・客数・客単価もあまり変わっていない。決して景気が良くなったとは言えないが、ここ半年くらい現在の水準で安定している。夜の繁華街の人出は多くなった。	
通信会社(経営者)	お客様の様子	・新規加入契約が依然増加せず、解約数も増加したままで推移している。	
通信会社(社員)	お客様の様子	・年度始めの異動時期のためか、当社サービスの会員の退会が多くあった。一時的なものと思うがしばらく様子を見ている段階である。	
通信会社(社員)	販売量の動き	・3か月前と比べて、販売量・来客数ともに変わらないが、前年対比でみると毎月悪くなっている。	
通信会社(通信事業担当)	販売量の動き	・引越シーズンによる転入・転出による、新規加入や解約数が、例年よりかなり少なかった。	
通信会社(総務担当)	お客様の様子	・来客数の動向等あまり変化がないように見受けられる。	
通信会社(販売企画担当)	販売量の動き	・新生活の商戦期の名残で、4月上旬まで販売数は維持できた。	
テーマパーク (財務担当)	来客数の動き	・団体客が見込める時期であるが、予約自体も低調であり、また個人客も伸び悩んでいる状況が続いており、上向き傾向はみられない。	
競艇場(職員)	来客数の動き	・来客数に比例して、売上も横ばい状態である。	
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・商店街への来客数の減少は止まらず、背筋が寒くなるような思いである。
	スーパー(店長)	来客数の動き	・近隣に競合店がオープンし、そのオープンに伴う既存の競合店のチラシ攻勢により、バーゲンハンターがあちらこちらの店を買いまわっている状況である。そのため、日ごとの客数がよみづらく、結果として客数減になり苦戦している。
	衣料品専門店 (経営者)	販売量の動き	・ここ2~3か月同じような傾向で、前年より来客はあるようでも売上につながらない。
	衣料品専門店 (地域ブロック長)	販売量の動き	・例年に比べて気温が上がってこないため、初夏物の動きが悪かった。
	家電量販店(店長)	販売量の動き	・デジタル化に対する知識は浸透したが、購買にはいたってない現状である。
	家電量販店(店員)	来客数の動き	・客単価が低下している。前年と比べても、客数も減少し、安価な商品ばかりが売れている。
	乗用車販売店 (統括)	販売量の動き	・4月の販売台数は前年比96%と大変厳しい状況となっている。
	乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・車検時に、部品の不具合が多数あり整備料金が嵩むような場合、これまでだったら買い換えをしていた客が、整備して引き続き乗り続ける傾向が多くなった。
	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・販売実績で前年比90.8%と大変厳しい状況が続いている。

		その他専門店 [時計](経営者)	販売量の動き	・販売量とともに単価も低下している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・昨年の4月は少し良かったが、今年は市議会選挙が始まり、夜の客の動きが大変悪かった。
		テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・3月下旬から4月上旬の天候不順に加え、隣接地域に相次いでオープンした観光施設の影響もあり、今月の来客数が大幅に減少している。
		設計事務所(経営者)	お客様の様子	・顧客の購買意欲が減少しており、ひたすら出費を抑えようという守りの姿勢が継続している。
	悪くなっている	百貨店(販売担当)	来客数の動き	・4月中旬までは前年をクリアしていたが、後半は気温の低下の影響もあり、最終週は来客数が前年の90%代と大きく低迷した。
		乗用車販売店 (サービス担当)	販売量の動き	・販売量が前年と比較して80%ぐらいに落ち込んでいる。当店だけでなく全体的に落ちているようである。店頭の客もかなり減少している。
		テーマパーク (広報担当)	来客数の動き	・春だというのに気温が上がらず、行楽シーズンがきたという感覚がない。客もそのように考えているようで、さっぱりである。
企業 動向 関連	良くなっている	輸送用機械器具 製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・身近で変化が起きている。4月は3月決算期の反動で受注量が減るのが通例であったが、今年は例年では残業なしが通例となっている日でも製造部門はフル残業である。
	やや良くなっている	化学工業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・大口取引先から数年先までの大口受注が見込まれ、それに対応すべく設備投資も検討する段階に入った。
		窯業・土石製品 製造業(総務経理担当)	受注量や販売量の動き	・大口案件の追い込みと次の大口案件の生産着手で生産はここ最近では最高水準である。このため製造現場は残業プラス公休出勤で対応、多忙な状態である。
		電気機械器具製 造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・自動車関連は国内・欧米・中国で好調な受注が入っている。携帯関連は、春モデルが落ち着いてきたものの海外向けを中心に受注安定化している。夏にむけてのエアコンの受注が入り始め、とくに昨年ヨーロッパの猛暑から海外向けが好調の兆しがみえている。
		その他製造業 [スポーツ用品](総務担当)	受注量や販売量の動き	・特に春物から受注量は少しずつ向上きだしてきている。しかしながら価格は海外がらみがあり、据え置きまたは多少押さえ気味となっている。
		建設業(営業担当)	取引先の様子	・デベロッパー・物販関係・製造業からの見積依頼が多くなっている。
		金融業(業界情報担当)	取引先の様子	・輸出を中心とした主力車の販売好調を背景に、生産はフル操業を持続中である。原油高に伴う原材料費上昇は依然として続いているが、徐々に製品価格への転嫁も進んでおり、収益面も改善傾向にある。
		金融業(営業担当)	取引先の様子	・3月4月と年度替わりの時期であったが、企業の売上は例年ほどの落ち込みはなかった。ただしこの2~3か月は安定して仕事があるようだが、ガソリンの高騰等で、収益の低下は避けられない企業が多いのも事実である。
		不動産業(経営者)	取引先の様子	・部屋の動きが少しずつ良くなりつつある。金融機関の貸出しが少し緩和されたような感じで、土地・建物の販売も取引がやや活発になりつつある。
		その他サービス 業[清掃具レンタル](情報管理担当)	受注量や販売量の動き	・健康に対しては、少々高額でも効果のある商品を選ぶ傾向である。価格だけではなく、機能がともなえば正当な価格を認めてもらえるようになってきた。
	変わらない	化学工業(総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・生産量、出荷量共に先月と大きな変化はなく安定しており、社内は全般に高稼働率である。物流費・原燃料費高騰の影響を受けながらも好景気(販売価格の上方修正等)の影響で、利益が出ていると思われる。
		金属製品製造業 (総務担当)	取引先の様子	・得意先からの増産要請があり、連休中に設備投資を予定している。ただし、人員は現状のままとし、固定費は増加させない方向である。
		一般機械器具製 造業(経営企画担当)	それ以外	・国内での自社製品の売上が好調に推移しているものの、生産資材の高騰により生産コストの悪化が懸念される。
		輸送用機械器具 製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・自動車部品製造の業務請負業を行っているが、ここ半年くらい受注量も安定し、むしろ増加している状況が続いている。

	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・引き続き受注量・受注価格ともに横ばいの状況で推移しているが、原材料等の価格は高止まりからさらに上昇する傾向にあり、採算的には非常に厳しい状況が続いている。		
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・建設不動産関連では、まったく良い材料はみえず、悪いまま推移している。受注量も少なく、競争も激しくなって、価額も利益も少ないまま推移している。		
	通信業（営業企画担当）	受注量や販売量の動き	・法人向け通信サービスは相変わらず高品質・高価格商品から低価格商品へ移行する形態の受注が主体であり、ここしばらく大きな変動はない。専用線は悲観的予測ほどには減少していないものの、移行商品の受注量は売上減を食い止めるまでに至っていない。		
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・地元の首長選挙の結果、地元振興策が頓挫するのではないかという懸念が広がっている。広告業界にも影響が大きい。		
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・建設、運送業関係は思わしくないが、製造、販売といった業種の売上高は伸びている。ただし、そういった業種も利益率が低下気味のところが多く、業績面ではあまり順調とは言いがたい面がある。		
やや悪くなっている	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・ここ数か月、受注発注が減少している。売上も2～3年前に比べて、かなり減少している。		
悪くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・4月と3か月前の1月を比較すると、水揚数量で757tの減少、水揚金額で1億300万円の減少となった。水揚数量の減少原因は、大中型巻網船・大型小型定置網の減少によるもの。水揚金額の減少原因は、沖合底引網・小型底引網・大型小型定置網が減少したためである。また、4月単月の前年度対比では、水揚数量で1059tの減少、水揚金額では2億1千万円の減少。水揚数量の減少理由は、沖合イカ釣り漁の減少によるもの。水揚金額の減少理由は、小型底引網・沖合小型イカ釣り漁が減少したためである。		
雇用関連	良くなっている	求人情報誌製作会社（支店長）	求人数の動き	・最近、求人数の伸びが顕著になってきている。	
		学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	・各企業、業界でまんべんなく採用意欲が出ている。昨年度より内々定が半月程早まっているようである。人材不足の影響ということもあるかもしれないが、やはり景気はかなり上向いている。	
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（担当者）	採用者数の動き	・求人広告の問い合わせが増加している。	
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・求職者の活動も活発になり、紹介件数・就職数とも大幅に増加している。また、新規求人数もパートより一般求人が増加傾向にある。	
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・企業をまわっている担当者の話でも、前向きな明るい企業活動に関する話が少ない。
			職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人は、衣服小売業や各種商品小売業で新規オープンに伴う大量求人があったものの、建設業やサービス業での減少がひびき、全体では減少傾向となった。
職業安定所（雇用開発担当）		求人数の動き	・新規求人数が、前年同月および3か月前に比べて増加している。地元大手化学メーカーから、再び大口の求人が提出されている。		
民間職業紹介機関（職員）		雇用形態の様子	・年商150億円強の地場大手企業からの求人で、事務職でもかなりの中核になる職種なのに「今回は正社員ではなく派遣社員」の求人になった。多少の景気回復はあってもなかなか安定雇用にはつながっていない。		
やや悪くなっている	-	-	-		
悪くなっている	-	-	-		